

令和元年度事業報告

1 理事会

令和元年7月31日(水)パレスグランデールにおいて理事会を開催し、平成30年度事業報告及び収入支出決算を承認。令和元年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について審議を行い、原案のとおり承認した。

2 要望活動

(1) 要望内容(利便性向上・ダイヤ改正等)のとりまとめ

各市町村、鉄道関係団体、高等学校等に照会のうえ要望事項のとりまとめを行った。

(2) 主な要望項目

- ・ 奥羽・羽越新幹線の早期実現
- ・ フル規格新幹線を見据えた福島～米沢間トンネル整備の早期事業化
- ・ 山形新幹線の速達性向上及び在来線区間を含む安定輸送の確保
- ・ 羽越本線の速達性向上及び安定輸送の確保並びに機能強化(複線化等)
- ・ 仙山線の高速化及び仙台空港アクセス線への直接乗り入れ
- ・ ダイヤ改善等による輸送力の強化
- ・ 交通系ICカードの対応駅拡大による利便性向上
- ・ 特色ある列車運行による魅力向上
- ・ 安全・安定輸送に対する取組みの推進

(3) 要望日程

国土交通省、東日本旅客鉄道株式会社に対して要望等を行った。

- ・ 令和元年12月13日 東日本旅客鉄道株式会社 山形支店
- ・ 令和2年1月30日 東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社
- ・ 令和2年3月19日 国土交通省鉄道局
- ・ 令和2年3月19日 東日本旅客鉄道株式会社 本社
- ・ 令和2年3月19日 東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社

3 情報収集活動

東日本旅客鉄道株式会社の本社、仙台支社、新潟支社、山形支店等と随時打合せを行い、情報収集に努めた。

4 広報活動等

(1) 接続時刻表の掲載

- ・ 令和2年3月のダイヤ改正に合わせ、「山形新幹線 接続時刻表」並びに「仙山線～仙台空港アクセス鉄道 接続時刻表」を作成して県ホームページに掲載し、利用拡大に努めた。

(2) 看板制作

- ・ JR山形駅自由通路及び鶴岡市温海庁舎に奥羽・羽越新幹線の早期実現や福島～米沢間トンネル整備の早期事業化のPRのための看板を設置した。

5 奥羽・羽越新幹線の早期実現に向けた取組み（県の取組みとの連携）

(1) 山形新幹線新庄延伸 20 周年シンポジウムの開催

期 日 令和元年12月7日（土）

場 所 メモリアルプラザ大地会館（新庄市）

参加者 約120名

- ・ 山形新幹線の新庄延伸後20周年を迎えたことから、最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会と山形県の主催により、山形新幹線が地域にもたらした効果やフル規格新幹線の整備に向けた今後の取組み等を考えるシンポジウムを開催した。

(2) 羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチームにおける検討

- ・ 両新幹線沿線の関係6県からなる「羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチーム」（H29.8設立）において、関係県の課長級による検討会を4回開催したほか、担当者による実務レベルの会議等も開催し、調査・検討を行った。

6 活動の成果

(1) 奥羽・羽越新幹線の早期実現、福島～米沢間トンネル整備の早期事業化

○ 政府の令和2年度予算における調査費の計上（継続）

- ・ 政府の令和2年度予算において、奥羽・羽越新幹線をはじめとする基本計画路線を含む全国的な幹線鉄道ネットワーク等のあり方の検討に必要な調査費が引き続き計上された。

(2) 山形新幹線の在来線区間における速達性向上及び安定輸送の確保等

① 福島以北における携帯電話の不感区間解消に向けた取組み

- ・ 山間地となる福島～米沢間、山形～新庄間の一部において携帯電話等が使用できないトンネル区間があったが、令和2年末までに不感区間が解消され、全線で携帯電話サービスの利用が可能となる見込みとなった。

② 公衆無線LAN (Wi-Fi) サービスの導入

- ・ JR東日本において、山形新幹線 (E3系) も含め、新幹線全車両で公衆無線LAN (Wi-Fi) サービスが開始された。

③ 新型車両の導入

- ・ JR東日本において、2024年春から最高速度300km/hで走行する新型車両「E8系」を順次投入すると発表された。

④ 福島駅アプローチ線新設工事の着手

- ・ JR東日本において、輸送障害時のダイヤ復旧時間短縮を目的として、福島駅において、在来線 (奥羽本線) と新幹線上りホームを結ぶアプローチ線 (2026年度末の使用開始を見込む) の新設工事に着手すると発表された。

(3) 羽越本線の速達性向上及び安定輸送の確保等

○ 突風の観測・予測方法の研究 (ドップラーレーダーを用いた気象観測システム)

- ・ 令和元年11月から観測範囲が庄内全域に拡大された。

(4) 県内各路線の整備の推進及び利用拡大

○ 企画列車や豪華列車の運行による魅力向上と利用拡大

- ・ クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島 (トランススイートしきしま)」が引き続き運行され、加茂水族館、あつみ温泉での温泉入浴、「しな織」の製作工程見学の下車観光が行われた。
- ・ 令和元年10月から12月に実施された「新潟県・庄内エリアディステーションキャンペーン」に合わせ、新観光列車「海里」が運行された。